科目名（英）	オリエンテーション・導入教育Ⅰ	必修選択	必須	年次	1	担当教員	中村　石渡　安中　松原
学科・コース	トータルビューティ科	授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

トータルビューティ科の2年間の学びが理解できる
自分自身が学ぶ目的を持てる

【授業を通じての到達目標】

トータルビューティ科の2年間の学びを理解し、自分自身の目標が設定できるようになる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授　業　概　要	テスト配点
1	オリエンテーション 学則について 学年暦について 授業の学び方について	
2		
3		
4		40点
5	導入教育 クラス内役割について 清掃について 授業の持ち物・ＳＮＳマナーについて	
6		
7		
8		60点
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点
●評価
Ａ評価（90～100点）/Ｂ評価（80～89点）/Ｃ評価（70～79点)/Ｄ評価（60～69点）
Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）/Ｆ評価（0～59点・不合格）
●評価方法
　評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	プロフェッショナルへの道	必修選択	必修	年次	2	担当教員	松原　石渡　中村　安中
		授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科共通					曜日・時間	【水】1組2限/3組3限 【木】2組3限/4組2限

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

・担任が社会人経験を活かし、美容学生として自覚を持たせそれぞれの業界のプロを目指す心構えを持たせる。
・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。
・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路（コース）を選択できるよう導く。

【授業を通じての到達目標】

目指す業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
マニュアル／その他毎授業時に配布。	授業によって自宅課題あり。

回	授　業　概　要	テスト配点
1	・美容の職業を目指すにあたり具体的な目標設定をする。 入学式を振り返り、自分が学びたいことや職業を明確化する。 言葉の花束	
2	・目指す業界について学ぶ ※交流会の2コースを深く調べる。 →理想の業界人を考え、その業界を目指すにあたり必要な努力を理解する。	
3	・目指す業界について学ぶ ※交流会の2コースを深く調べる。 →理想の業界人を考え、その業界を目指すにあたり必要な努力を理解する。	
4	GW課題発表＆回収 ・1・2年生交流会で先輩への質問を準備し、施術を受けるにあたってのマナーを学び期待感を高める。	小テスト　20点
5	①竹下通り、表参道周辺のコスメ、ファッション、スイーツを調べる。 美容とファッションの聖地「原宿」、最新の美容を感じられる「表参道」で人気のある店舗や流行りを知ることができる。 ②グループに分かれ実際に散策し実際に雰囲気を体感する。	
6	振返り授業の為、休講	小テスト　20点
7	【中間テスト】 入学後、学んだことを振り返り目標が達成されたか確認する。 →中間テストを通して、入学後の自分を振り返り自分の成長度を確認し、コース選択の希望や次の目標を明確化できるようになる。	中間テスト　20点
8	資格取得の必要性を学ぶ 資格取得の必要性を学び資格取得が今後の自分のスキルアップにつながることを理解できるようになる。在学中に取得する資格の正式名称を確認し、履歴書に記入する。	
9	後期に進むコースを決定する。 後期に進むコースを決定し、職業を意識した学校生活を実践できるようになる。 お辞儀の種類、方向の示し方の所作を学び学校生活の中で実践できるようになる。 履歴書の記入方法を学び、後期に向けての就職活動を意識する。	小テスト　20点
10	季節の挨拶（書状）を学ぶ 季節の挨拶（書状）を学び、お世話になった人に対し暑中見舞いを作成する。（はがき1枚持参）	
11	履歴書の書き方を学ぶ・自己分析をする	
12	社会的マナーを確認し、楽しく有意義な夏休みを過ごせるように計画を立てる	小テスト　20点
13	履歴書の書き方を学ぶ　面接における諸対応を学ぶ	小テスト　20点
14	就職活動に向けて自分のアピール方法を考える	
15	前期を振り返り、後期に向けての意気込みを発表する	

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
　評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	外部授業	必修選択	必須	年次	1	担当教員	中村　石渡　安中　松原
学科・コース	トータルビューティ科	授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

メイク・ネイル・エステ・ファッションそれぞれの業界の方に授業を受け、専攻選択に向けての思いを高める

【授業を通じての到達目標】

4業種の仕事のやりがいなどが理解できる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授　業　概　要	テスト配点
1	オリエンテーション 企業調べ・企業理解 グルーワークによる企業シェア	
2		
3		
4		40点
5	企業授業実施（メイク・ネイル・エステ・ファッション） 振り返り・グループシェア	
6		
7		
8		60点
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価

Ａ評価（90～100点）/Ｂ評価（80～89点）/Ｃ評価（70～79点)/Ｄ評価（60～69点）

Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）/Ｆ評価（0～59点・不合格）

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	相互支援演習	必修選択	必須	年次	1	担当教員	中村　石渡　安中　松原
学科・コース	トータルビューティ科	授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

チームワークなど他者との関わりの重要さを体験学習を通じて学ぶ

【授業を通じての到達目標】

他者との関わりを通じて思い遣りの気持ちを醸成するまた物事の先を読む力を養う

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授　業　概　要	テスト配点
1	オリエンテーション	
2	ベルリンピック前日準備①	
3	ベルリンピック前日準備②	
4	ベルリンピック前日準備③	40点
5	ベルリンピック当日①	
6	ベルリンピック当日②	
7	ベルリンピック当日③	
8	振り返り	60点
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価

Ａ評価（90～100点）/Ｂ評価（80～89点）/Ｃ評価（70～79点）　Ｄ評価（60～69点）

Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）/Ｆ評価（0～59点・不合格）

科目名（英）	1・2年生交流会 1 and sophomore Meet-the-people session	必修選択	必修	年次	1	担当教員	安中・石渡・中村・松原
学科・コース	トータルビューティ科	授業形態	演習	総時間（単位）	15 1	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【目的】
両学年の交流をすることで卒後のつながりを強化する。また2年生は1年生へ自分たちの得た知識・技術を披露することで自分たちが学んだコースの強みを理解する。1年生は2年生から施術を受けることで各コースで学べる内容を理解し、後期のコース選択のヒントを得ることができる

【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。

【授業を通じての到達目標】

2年生は技能・知識を披露して1年生はコース選択の参考にすることができる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
筆記用具 スマートフォン	帰宅での調べ課題

回	授 業 概 要	テスト配点
1	1・2年生交流会に向けて各コース（MA/NL）の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる	
2	1・2年生交流会に向けて各コース（ES/FA）の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる	
3	1～2回の授業でまとめた内容をグループでシェアすることでより深く各業態について知ることができる	
4	1～3回の内容をもとに2年生と交流するコースを選択する	
5	4回目授業で決めたコースについて質問シートをまとめ	
6	選択したコースの先輩から施術をしてもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる①	
7	選択したコースの先輩から施術をしてもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる②	
8	6～7回の授業で施術をしてもらった先輩へお礼状を書くことで、自分が得た知識についてアウトプットを行うことができる	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	2年生コンテスト見学	必修選択	必須	年次	1	担当教員	石渡
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	トータルビューティ科						

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

2年生の学内コンテストを見学し、自身の1年後を具体的に想起させる

【授業を通じての到達目標】

コース選択後の自分と照らし合わせることで学習に対するモチベーションを高める

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授　業　概　要	テスト配点
1	オリエンテーション	
2	コンテスト見学①	
3	コンテスト見学②	
4	振り返り①	40点
5	2日目オリエンテーション	
6	コンテスト見学③	
7	コンテスト見学④	
8	振り返り②	60点
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価

Ａ評価（90～100点）／Ｂ評価（80～89点）／Ｃ評価（70～79点）　Ｄ評価（60～69点）

Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）／Ｆ評価（0～59点・不合格）

科目名（英）	メイク基礎A	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース		授業形態	実習	総時間（単位）	60時間 4単位	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

フルメイクをするためのマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が修得できるようになる。
※JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクに携わる。（深井）

【授業を通じての到達目標】

基本のフルメイクを30分で仕上げる技術を修得する。JESC検定合格。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
Basic Makeup	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	【授業単元】授業内容・ルール・教材確認・メイク前準備・スキンケア手順 【到達目標】この授業の目標を内容と目標を理解する。メイク前準備を修得する。スキンケアの手順を理解する。	
2	【授業単元】テーブルセッティング・スキンケア実技・ファンデーション理論・実技 【到達目標】テーブルセッティングを修得する。スキンケア実技を修得する。ファンデーションの目的と効果を理解し、色選び、手順、塗り方を修得する。	
3	【授業単元】コンシーラー・フェイスパウダー理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。コンシーラー・フェイスパウダーの効果を理解し、手順、色選び、塗り方を修得する。	
4	【授業単元】ハイライト・シェイディング理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。ハイライト・シェイディングの効果を理解し、入れ方を修得する。	
5	【授業単元】アイブロウ理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。アイブロウのプロポーションを理解し、手順、描き方を修得する。	
6	【授業単元】メイク前準備～アイブロウ実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。	
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】メイク前準備～アイブロウ実技を40分で実施する	
8	【授業単元】アイメイク理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。アイメイクの範囲、手順、塗り方を修得する。	
9	【授業単元】リップ理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。リップメイクのプロポーションと手順を理解し、塗り方を修得する。	
10	【授業単元】チーク理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。チークのポイントと範囲、手順を理解し、塗り方を修得する。	
11	【授業単元】時間配分・フルメイク50分タイム取り 【到達目標】フルメイクデモ30分を見て30分フルメイクの感覚を体感する。フルメイクを50分で実施する	
12	【授業単元】フルメイク40分タイム取り 【到達目標】フルメイクを40分で実施する	
13	【授業単元】フルメイク30タイム取り・筆記模擬試験 【到達目標】フルメイクを30分で実施する	
14	【授業単元】フルメイク30分タイム取り・検定注意事項読み合わせ 【到達目標】検定試験と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施する	
15	【授業単元】定期試験 【到達目標】検定試験と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施する	

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	メイク基礎A	必修選択	必修	年次	1	担当教員	深井/近田　関/大瀬
学科・コース		授業形態	実習	総時間（単位）	60時間 4単位	開講区分 曜日・時間	前期 ㈭ 1－1 1－3　㈪ 1－2 1－4

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

フルメイクをするためのマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が修得できるようになる。
※JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクに携わる。（深井）

【授業を通じての到達目標】

基本のフルメイクを30分で仕上げる技術を修得する。JESC検定合格。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
Basic Makeup	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	【授業単元】授業内容・ルール・教材確認・メイク前準備・スキンケア手順 【到達目標】この授業の目標を内容と目標を理解する。メイク前準備を修得する。スキンケアの手順を理解する。	
2	【授業単元】テーブルセッティング・スキンケア実技・ファンデーション理論・実技 【到達目標】テーブルセッティングを修得する。スキンケア実技を修得する。ファンデーションの目的と効果を理解し、色選び、手順、塗り方を修得する。	
3	【授業単元】コンシーラー・フェイスパウダー理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。コンシーラー・フェイスパウダーの効果を理解し、手順、色選び、塗り方を修得する。	
4	【授業単元】ハイライト・シェイディング理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。ハイライト・シェイディングの効果を理解し、入れ方を修得する。	
5	【授業単元】アイブロウ理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。アイブロウのプロポーションを理解し、手順、描き方を修得する。	
6	【授業単元】メイク前準備～アイブロウ実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。	
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】メイク前準備～アイブロウ実技を40分で実施する	実技20点
8	【授業単元】アイメイク理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。アイメイクの範囲、手順、塗り方を修得する。	
9	【授業単元】リップ理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。リップメイクのプロポーションと手順を理解し、塗り方を修得する。	
10	【授業単元】チーク理論・実技 【到達目標】前回までの内容を実施する。チークのポイントと範囲、手順を理解し、塗り方を修得する。	
11	【授業単元】時間配分・フルメイク50分タイム取り 【到達目標】フルメイクデモ30分を見て30分フルメイクの感覚を体感する。フルメイクを50分で実施する	
12	【授業単元】フルメイク40分タイム取り 【到達目標】フルメイクを40分で実施する	
13	【授業単元】フルメイク30タイム取り・筆記模擬試験 【到達目標】フルメイクを30分で実施する	
14	【授業単元】フルメイク30分タイム取り・検定注意事項読み合わせ 【到達目標】検定試験と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施する	
15	【授業単元】定期試験 【到達目標】検定試験と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施する	実技60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ネイル基礎	必修選択	必修	年次	1	担当教員	小峰奈々 内田由香
学科・コース	トータルビューティー科	授業形態	実技	総時間（単位）	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜・3.4時限目

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

衛生と消毒、爪の構造、爪の病気とトラブル、ネイルの技術形態、テーブルセッティング、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、ネイルケアの安全な技術、各種カラーリング、フラットアート（イラスト）ネイルアートの技術を修得する

※講師（小峰・内田）は、美容サロン・ネイルサロンにてネイリストして5年以上の実務経験を有する。またネイル教育においても日本ネイリスト協会　常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員の資格を保持している。

【授業を通じての到達目標】

ネイリスト技能検定3級に合格できるレベルに達している
ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる
カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
JNAテクニカルシステムベーシック 配布教材 タオル　ピンセット　ビニール袋　セロテープ　キッチンペーパー　筆記用具 メモ帳　　タイマー	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	学科[ネイルの歴史　p8～13、ネイルケアの用具用材と使用目的　p71.72、基本的なテーブルセッティング　p70] 教材説明ラベル貼り	
2	学科[爪の構造と働き　p16.17、カットスタイル別ファイリング　p85～91] エメリーボードの面取り　　ウッドスティックのカスタム（削り）2種 コットンスティック作成※大、中、小の其々の用途の説明	
3	学科[ネイルのための皮膚科学　p20～22] ファイリング　相モデル　カットスタイルラウンド	
4	学科[爪や皮膚の病気とトラブル　p30.31、消毒法　p38.39] テーブルセッティング[p39]、プッシャー[p77～79]	小テスト2点
5	学科[爪や皮膚の病気とトラブル　p34～36] ファイリング、クリーンナップ（ケア）	小テスト2点
6	学科[化粧品化学　p47～49] ファイリング、クリーンナップ（ケア）　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
7	学科[色彩理論　p52.53] カラーリング ポリッシュオフ　　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
8	学科[色彩理論　p56] ファイリング、クリーンナップ（ケア） カラーリング、ポリッシュオフ	小テスト2点
9	ファイリング クリーンナップ（ケア） カラーリング、アート、ポリッシュオフ　　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
10	事前仕込み（ラウンド、カラーリングトップまで※カラーリングして1日経った状態に近くするため） ポリッシュオフ、ファイリング、クリーンナップ（ケア） カラーリング、アート　　※次回の授業前日にケアをしてくる事	中間テスト20点
11	カラーリング　ピンク ※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
12	カラーリング　パール ※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
13	ファイリング、クリーンナップ（ケア） カラーリング、アート　　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
14	ファイリング、クリーンナップ（ケア） カラーリング、アート　　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
15	事前仕込み（ラウンド、カラーリングトップまで※カラーリングして1日経った状態に近くするため） ポリッシュオフ、ファイリング、クリーンナップ（ケア） カラーリング、アート	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】
●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点
●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）　　D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）
●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する

科目名（英）	エステ基礎	必修選択	必須	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科	授業形態	実習	総時間（単位）	60	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ハンドテクニックによるボディトリートメントの基本を理解し、技術、接客の基礎が習得できるようになる。※エステティック講師、エステティシャンとして長年経験し、現在まで数多くのお客様のケアをしている

【授業を通じての到達目標】

ボディエステティックを通し、接客、マッサージなどのトリートメント方法を修得する

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
実技マニュアルプリント、ボディ実技準備一式	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	ボディエステティックとは、目的と効果、事前準備について（P.５０～５４）	
2	ボディトリートメントのディープクレンジングについて（P.５６）、スチームタオルの作り方	小テスト　４点
3	ボディマッサージ基本手技について（P.６６～６９）　前操作～下肢後面（塗布～４）ふき取りについて	
4	下肢後面ボディマッサージについて　塗布～４までの復習と５～２０まで連続して行う	小テスト　４点
5	下肢後面ボディマッサージについて　２１～３２まで下肢全体	
6	下肢後面の一連の流れについて　ディープ～前操作～下肢後面マッサージ	
7	中間テスト（ご案内～前操作～下肢後面～ふき取りの一連の流れ）	中間テスト　２０点
8	うつ伏せから仰向けのご案内の仕方　下肢前面ボディマッサージについて（～１０）	
9	下肢前面ボディマッサージ（１１～２２）	小テスト　４点
10	前面のディープクレンジングと下肢前面ボディマッサージ	
11	下肢ボディマッサージについて（前操作～後面～前面）　姿勢と密着	小テスト　４点
12	下肢ボディマッサージについて（前操作～後面～前面）　姿勢とリズム	
13	下肢ボディマッサージについて（前操作～後面～前面）　姿勢と強弱	小テスト　４点
14	ボディエステティックの流れ　ディープクレンジング～前操作～マッサージ～ふき取り	
15	定期試験（ご案内～前操作～下肢後面～下肢前面～ふき取りの一連の流れ	定期試験　６０点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価

Ａ評価（90～100点）/Ｂ評価（80～89点）/Ｃ評価（70～79点）　Ｄ評価（60～69点）

Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）/Ｆ評価（0～59点・不合格）

科目名（英）	Hair&Fashion basic ヘア＆ファッション基礎	必修選択	必修	年次	1	担当教員	矢澤　勇
学科・コース	TB科ファッションコース	授業形態	実技	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師が様々なお客様へのスタイリング方法を教え、またスタイリストとしての仕事について実習・講義を行い学生たちがアドバイザーだけではなくスタイリストアシスタントしても活躍できる知識を得ることができる。

【授業を通じての到達目標】

お客様にあったスタイリングを提案し的確なコーディネートを組む事ができるようになる。また、スタイリングについての理解を深め実践出来るようになる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授　業　概　要	テスト配点
1	セルフコーデチェック、プレゼン	
2	アイテム名やファッションワードなど	
3	セルフコーデのアドバイス、コーディネート①	
4	セルフコーデのアドバイス、コーディネート②	
5	①Tシャツリメイク	
6	②Tシャツリメイク	
7	③リメイクアイテムプレゼン（テスト）	
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
　評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	Hair&Fashion basic ヘア＆ファッション基礎	必修選択	必修	年次	1	担当教員	高岸・福島・秋本
学科・コース	TB科ファッションコース	授業形態	実技	総時間（単位）		開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

メイクスキルを必要とする化粧品ブランドでメイクアーティストを経て、現在バックステージ、ブライダル、広告、CMのヘアメイクとして活動する講師が、BAとして、販売に必要な製品の提案力を身に付ける指導を行う。アイテムの使い方、モデルに合わせた色、製品の選び方をメイク実践行いながら学ぶ。

【授業を通じての到達目標】

ヘアの基礎技術を身に付けて、セルフアレンジが出来るようになる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授 業 概 要	テスト配点
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	道具説明・コテ慣らし	
9	ダウンスタイル（コテ巻き）	
10	ハーフアップ（ウィッグ）	
11	ハーフアップ（セルフ）	5
12	アップスタイル（ウィッグ）	
13	アップスタイル（セルフ）	5
14	テスト練習	
15	定期テスト	60

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	美肌検定	必修選択	必須	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科	授業形態	講義	総時間（単位）	30（1）	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

美容業に携わる自身の為に美肌の知識を深めるとともに、アドバイスができるようになる為に美肌作りのポイントについて理解し知識を修得する。
※エステティック講師、エステティシャンとして長年経験し、現在まで数多くのお客様の美容上のお悩みを伺いケアをしている

【授業を通じての到達目標】

美肌検定に合格する

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
美肌検定テキスト	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について（P.８～１３）	
2	美肌ケアの基本、運動、栄養について（P.１６～２４）	小テスト４点
3	皮膚の構造と働きについて（P.26～２７）	
4	４つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造機能について（P.２８～３１）	小テスト４点
5	しわ、たるみについて（P.３２～３３）	
6	年代別お手入れ方法、男性の肌のお手入れ方法について（P.３４～３８）	
7	中間テスト　（筆記テスト）	中間テスト２０点
8	細胞再生修復、睡眠とホルモン、女性ホルモン、お手入れについて（P.４０～４６）	
9	体調と肌、活性酸素とは、活性酸素の要因、紫外線について（P.４８～５３）	小テスト４点
10	女性ホルモンと肌、温度・湿度と肌、季節にあったお手入れ方法について（P.５４～５９）	
11	クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて（P.６２～６５）	小テスト４点
12	化粧品の基本の使い方と選び方、化粧品の原料と役割、自分の肌に合う化粧品の見つけ方、薬機法	
13	フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関係する表情筋、セルフマッサージについて	小テスト４点
14	美肌を作る簡単ストレッチとボディマッサージ、ハンドネイルケアについて	
15	定期試験　（美肌検定試験）	定期試験６０点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
Ａ評価（90～100点）/Ｂ評価（80～89点）/Ｃ評価（70～79点）　Ｄ評価（60～69点）
Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）/Ｆ評価（0～59点・不合格）

科目名（英）	ネイル検定対策	必修選択	必修	年次	1	担当教員	小宮弥生 滝本陽子
		授業形態	実習	総時間（単位）		開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科					曜日・時間	水曜・3.4時限目

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

衛生と消毒、爪の構造、爪の病気とトラブル、ネイルの技術形態、テーブルセッティング、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、
ネイルケアの安全な技術、各種カラーリング、フラットアート（イラスト）ネイルアートの技術を修得する

※日本ネイリスト協会　常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNA
フットケア理論検定試験指導員が実施

【授業を通じての到達目標】

ネイリスト技能検定3級に合格できるレベルに達している
ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる
カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
JNAテクニカルシステムベーシック 配布教材 タオル　ピンセット　ビニール袋　セロテープ　キッチンペーパー　筆記用具 メモ帳　　タイマー	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	学科ネイルの技術形態　p14.15] エメリーボードの面取り、ウッドスティックのカスタム（削り）2種 コットンスティック作成※大、中、小の其々の用途の説明	
2	学科[爪の構造と働き　p18.19] 手指消毒[p74] ファイリング　相モデル　カットスタイルラウンド	
3	学科[ネイルのための皮膚科学　p20～22] ファイリング　相モデル　カットスタイルラウンド	
4	学科［消毒法　p40～45] ファイリング、クリーンナップ（ケア）	小テスト2点
5	学科[化粧品化学　p50～51] カラーリング[p82～84] ポリッシュオフ[p75]　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
6	学科[色彩理論　p54.55] ファイリング、クリーンナップ（ケア） カラーリング、ポリッシュオフ　　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
7	フラットアート(イラスト)　p118.119 バラ、ハイビスカス※チップで練習後相モデル ※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
8	ファイリング クリーンナップ（ケア）　、カラーリング アート、ポリッシュオフ　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
9	カラー仕込み（トップコート塗布※カラーリングして1日経った状態に近くするため） ポリッシュオフ　、ファイリング、クリーンナップ（ケア） カラーリング、アート　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
10	事前仕込み（ラウンド、カラーリングトップまで※カラーリングして1日経った状態に近くするため） ポリッシュオフ、ファイリング、クリーンナップ（ケア） カラーリング、アート　※次回の授業前日にケアをしてくる事	中間テスト20点
11	カラーリング　ナチュラルスキンカラー ※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
12	クリーンナップ（ケア） カラーリング アート　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
13	ファイリング クリーンナップ（ケア） カラーリング、アート　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
14	ファイリング クリーンナップ（ケア） カラーリング、アート　※次回の授業前日にケアをしてくる事	小テスト2点
15	事前仕込み（ラウンド、カラーリングトップまで※カラーリングして1日経った状態に近くするため） ポリッシュオフ、ファイリング、クリーンナップ（ケア） カラーリング、アート　※次回の授業前日にケアをしてくる事	定期60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
　評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	選択ヘア＆メイク	必修選択	必須	年次	1	担当教員	秋本・阿藤
学科・コース	トータルビューティ科	授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

メイクスキルを必要とする化粧品ブランドでメイクアーティストを経て、現在バックステージ、ブライダル、CM、広告のヘアメイクとして活動する講師が、一人一人の個性、ファッションに合わせたヘア＆メイクを実践し、トータルコーディネート力、セルフプロデュース力を身につける。
美容業界で大切な『感性』を身につける。

【授業を通じての到達目標】

自分を客観視出来るようになる事で、セルフプロデュース力が身に付く。
美容業界、ファッション業界で必要なな洗練された印象を身に付けることが出来る。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授　業　概　要	テスト配点
1	アドバイスを貰う事で今の自分のヘア＆メイクを学ぶ。 相手の良い所を見つけて、客観的に見る力を身につける。	
2	コテの巻き方、内巻き、外巻き、巻く位置によって変わる印象の違いを理解出来るようになる。	
3	『トレンド』の意味を理解出来るようになる。 個性的なファッションのヘア＆メイクが出来るようになる。	
4	どうしたらキュートイメージ、クールイメージの差を付けた仕上がりが出来るようになる。	
5	ゆるふわアレンジが出来るようになる。 『大人ヘア』のポイント、おくれ毛の出し方、トップの崩し方	10点
6	都会的な洗練されたメイクが出来るようになる。 『大人メイク』のポイント	
7	原宿、表参道、青山を歩く事をイメージをした ヘア＆メイクを行う。（実技・フェイスチャート・トルソーチャート）	20点
8	第一印象の大切さを学び、そのシーンに合わせたスタイルが作れるようになる。	
9	毛の濃さ、形で見える印象の違いを学ぶ事で対面する相手に合わせた印象作りが出来るようになる	
10	作りたいイメージ通りにヘアアレンジが出来るようになる。	
11	広い年齢層、TPOに合わせた印象の良いナチュラルメイクが出来るようになる。	
12	清潔感のあるヘアスタイルが作れる事で、面接、プレゼンなど人前に立てるようにな。	10点
13	就職先に合わせたメイクを学ぶ。 清潔感、似合わせ、ファッション性のあるメイクが出来るようになる	
14	テスト前の練習として、面接仕様のヘア＆メイクが出来るようになる	
15	面接仕様のヘア＆メイクの実技を行う。	60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点
●評価
Ａ評価（90～100点）／Ｂ評価（80～89点）／Ｃ評価（70～79点）　　Ｄ評価（60～69点）
Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）／Ｆ評価（0～59点・不合格）
●評価方法
　評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する

科目名（英）	Fashion business 選択ファッション	必修選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋　直哉
学科・コース	TB科ファッションコース	授業形態	講義演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ファッション業界の基本的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う

※講師：エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う

【授業を通じての到達目標】

基本的なファッションの知識を習得しプレゼンテーション能力向上や、職種知識を習得して業界への知見を広げる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
授業毎にプリントを配布	店舗見学

回	授　業　概　要	テスト配点
1	ファッションとは？流行とは？情報とはどのように入ってくるのか？ 自分たちを取り巻くファッションについて考察する。（SNS、雑誌、広告などを調べ不考察する）	
2	ファッションの基本的な知識（スタイリング、ディテール名称、素材知識、カラーなど）を知る。	
3	ファッションのバックボーン（歴史やカテゴリー、コレクションなど）を知ることによって、ファッション、小売店舗の種類を理解してファッション業界の幅を知る。	
4	アパレル以外のファッションについての理解。 （服飾雑貨、コスメ、ヘアメイクなどアパレルを取り巻くファッションについての理解）	
5	ファッション業界についての業務理解① （リテール・小売業についての理解を深める）	
6	ファッション業界についての業務理解② （MD、VMD、バイヤー商品企画などの商品部署、PRやマーケティングの広報部署についての理解を深める）	
7	中間テスト	20点
8	スタイリングプレゼンテーションの習得① （現在のトレンドを読み取り、スタイリングを組み、プレゼンテーションを行う）	
9	スタイリングプレゼンテーションの習得② （オケージョン別スタイリングの理解とスタイリング実践）	
10	年代別ファッションのトレンドを調べ、ファッション業界の流れを知る（60年、70年、80年トレンドの理解）。	
11	コレクションブランドから現在のトレンドを読み取り、スタイリング提案に繋げる（提案力の向上）。	
12	コレクションブランドから読み取れるカラー、アイテム、ヘアメイクについてのトレンドの理解。	
13	ショップリサーチを行い、ファッション業界の現場を知る（接客、店作り、商品構成、立地などをリサーチ）。	20点
14	トレンドを加味したスタイリングプレゼンテーション資料の作成	
15	定期試験（スタイリングプレゼンテーション）	60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価

A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）　D評価（60～69点）

E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名	選択エステ	年次	1	実務経験	担当	小池　千絵
		授業形態	実技			
（英）		時間数	30		開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科	単位	2		曜日・時間	火曜日１．２限

講師紹介	国内外のエステティックの資格を保有し、複数の都内専門学校にてエステティックの授業を受け持つ講師がエステ基礎で習得した技術をもとに各部位のボディマッサージを習得する
目的 科目概要	身体の各部位の特性を理解し効果を実感してもらえるマッサージを行う
到達目標	エステの効果を感じることで楽しさを学ぶ
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ☐ 筆記試験　■ 実技試験　☐ 作品

教科書	プリント（補助教材）	事前事後学習とその内容	身近な方へ授業で習得したマッサージを行う
教材			
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	施術前の準備	エステティシャンの振る舞い方を知りお客様への接客を学ぶ
2	背中のマッサージ	マニュアルを見ながら背中のマッサージができるようになる
3	背中のマッサージ	背中のマッサージを正確にできるようになる
4	腹部のマッサージ	腹部のマッサージを正確にできるようになる
5	背中、腹部のマッサージ	背中、腹部のマッサージを連続してできるようになる
6	背中、腹部のマッサージ	ご案内からアフターカウンセリングまでをスムーズに行う
7	実技試験	ご案内～背中～腹部～アフターカウンセリングの流れをスムーズ行う
8	背中、腹部のマッサージ・パック	背中のパック技術を習得する
9	背中、腹部のマッサージ・パック	時間内にマッサージとパックを用いたトリートメントができるようになる
10	背中、腹部のスクラブ・マッサージ・パック	スペシャルトリートメントの効果を実感する
11	二の腕のマッサージ	二の腕のマッサージができるようになる
12	上半身のマッサージ	背中～腹部～二の腕のマッサージをスムーズにできるようになる
13	上半身のトリートメントの組み立て	これまで学習してきたトリートメントを基にお客様へのお悩みに合わせたメニューの組み立てができる
14	上半身のトリートメントの組み立て	これまで学習してきたトリートメントを基にお客様へのお悩みに合わせたメニューの組み立てができる
15	実技試験	時間内にお客様のお悩みに合わせたメニューの組み立てを行い施術する

科目名（英）	オリエンテーション・導入　後期	必修選択	必修	年次	1	担当教員	松原　石渡　中村　安中
学科・コース	トータルビューティ科共通	授業形態	座学	総時間（単位）	15	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

・目指す将来像を明確にし、目標に向かって準備をする。
・コース分け後、新たなクラスで同じ目標をもつ仲間との人間関係を構築させる。

【授業を通じての到達目標】

目指す業界・職業を理解し、同じ目的を持った同志と共に就職活動に向けて準備をすることができる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
マニュアル／その他毎授業時に配布。	授業によって自宅課題あり。

回	授　業　概　要	テスト配点
1	初回オリエンテーション 新たなクラスメイトと共にクラス内形成を実施する。※自己紹介	
2	専門分野についての知識や技術を理解し、後期の時間割を知る。 学生便覧：到達目標確認する。	
3	目指す職業で必要な資格を知る。 学生便覧：取得目標資格を確認し、正式名称が書けるようになる。	小テスト4点
4	目指す業界について詳しく調べる。→グループワーク→発表	
5	専門分野に必要な所作やマナーを知り、実践できるようにする。	
6	業界研究→グループワーク→発表	小テスト4点
7	就職活動へ向けての目標・達成するためにはを明確にする。	中間テスト20点
8	就職結団式（リクルートスーツ・キャリア・内定を勝ち取るために）	
9	模擬面接 集団面接にて、質疑応答	小テスト4点
10	振り返り→グループワーク→発表 周囲と自分の差を感じ、意欲を高める。	
11	目指す業界・職業への志望動機を明確にする。	
12	プレゼンテーションを通して、自己開示をする。 他己評価をし、フィードバックし合う。	小テスト4点
13	プレゼンテーションを通して表情・発声・質問に対する的確な返答がクラス内で共有できるようにする。	小テスト4点
14	自己PR・志望動機を明確にし、履歴書を作成する。	
15	定期試験：プレゼンテーション（自己PR・志望動機）	定期試験　60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
　評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	外部授業Ⅱ（Outside class）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	各担任
		授業形態	講義	総時間（単位）	15	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科・全コース					曜日・時間	

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【目的】
外部に出ることによって感性を刺激して最新の美容・ファッション・社会人としてマナー等を理解し知識を身につける。

【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。

【授業を通じての到達目標】

最新の美容・ファッションを理解し、自分の目指す選考を考え選択ができる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
講師作成資料・教材配布	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	【到達目標】進級に向けて心構えを持つ 進級の身構え・気構え・心構えをもつ。	
2	【到達目標】選考別の仕事を理解する 自分の将来を考え目標設定ができる	
3	【到達目標】学びを理解する トータルビューティ科の学びについて理解する	
4	【到達目標】専門分野に必要な知識を知る 自分の進む道に必要な知識をしり、活躍できる人物を理解する。	
5	【到達目標】就職分野を知る 卒業後、3年後、5年後、具体的な目標を考えることが出来る。	
6	【到達目標】原宿キャンパスを理解する 学校がある原宿について理解し、原宿を知る。	
7	【到達目標】振り返り ここまでの振り返りを行い、今の自分を見つめ直す。	
8	【到達目標】ポートフォリオ作成 卒業にむけて自分の想いを書くことができる。	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●評価はS・U・Eでおこなう。
S…合格（認定）
U…不合格（認定せず）
E…不合格（出席不良）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	業界・就職特別授業	必修選択	必修	年次	1	担当教員	松原　石渡　中村　安中
		授業形態	座学	総時間（単位）	30	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科共通					曜日・時間	【水】1組2限/3組3限 【木】2組3限/4組2限

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

・業界の方に実際に来校していただき授業をしていただく。
・現役の方から実際にデモンストレーションを実施していただき、感性を磨く。
・業界が求める人材など、直接話しを聞かせていただく。

【授業を通じての到達目標】

・目指す業界のプロから、実際に講義を受けることで、自分の知識・技術を向上させる。
・将来像を明確化し、就職活動へつなぐことができる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
マニュアル／その他毎授業時に配布。	授業によって自宅課題あり。

回	授　業　概　要	テスト配点
1	就職活動についてのルール・流れを知る。 円滑に就職活動をできるよう準備をする。	
2	「求人票の見方について」 人票の見方を知り、興味のある企業の求人情報を検索し、新卒採用における給与条件を調べる。	
3	「外部における就職活動について」 会社説明会、採用面接の形態を学び、就職活動時における職業別の適切な身だしなみを理解しする。	小テスト4点
4	「就職活動における諸対応について」 就職活動時の選考書類の送り方、電話対応、提出物、メールの送信において適切な方法を学ぶ。	
5	目指す業界のブランドを5社あげ、企業研究を行う。	
6	来校される会社様に関して、事前に研究をおこなう。→グループワーク→発表	小テスト4点
7	「就職活動時に提出する書類について」 就職活動時における履歴書以外の提出書類を知り、カバーレター、履歴書の作成が出来るようになる。	中間テスト20点
8	【特別授業】 業界講話・デモンストレーション	
9	振り返り→グループワーク→発表	小テスト4点
10	受験先を3社に絞る→企業研究	
11	「面接練習の実践、受験資料の作成」 面接練習を通して、志望動機を明確に伝えることができるようになる。	
12	ジャンルの違うブランドについて研究し、目指すブランドどの違いを学ぶ	小テスト4点
13	面接練習を通して、表情・発声・質問に対する的確な返答ができるようになる。	小テスト4点
14	面接練習を通して、自分の弱点を知り改善することができるようになる。	
15	定期試験：受験先を明確にし、第1希望のサロンへ模擬面接を実施する。	定期試験　60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	国際教育	必修選択	必修	年次	1	担当教員	石渡　尚子
学科・コース	トータルビューティー科	授業形態	演習	総時間（単位）	15(1)	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

海外の美容の状況・文化・生活様式について学ぶ
特に美容各専門分野においては世界各地域による特性が出ることから、日本国外の美容の状況を知ることでグローバルに活躍できる素地を醸成する

【授業を通じての到達目標】

葉b拾い美容技術を知るとともに、将来的に海外でも美容施術者として活躍できるきっかけを持てるようにする

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授　業　概　要	テスト配点
1	オリエンテーション　到達目標　国際教育についての学習の目的を知る	
2	海外ゲストによる技術指導　各専門分野での技術指導をうける	
3	海外ゲストの技術を見て学ぶ　デモンストレーション見学	
4	海外ゲストの技術を見て学ぶ　デモンストレーション見学	20点
5	前回の振り返り・今後の概要説明	
6	グループワーク「グローバルな活躍とは何か」	60点
7	フィールドワーク　芸術鑑賞	
8	フィールドワーク　芸術鑑賞	20点
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	就職講座	必修選択	必修	年次	1	担当教員	松原　石渡　中村　安中
学科・コース	トータルビューティ科共通	授業形態	座学	総時間（単位）	15	開講区分 曜日・時間	後期 【水】1組2限/3組3限 【木】2組3限/4組2限

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

・担任が社会人経験を活かし、美容学生として自覚を持たせそれぞれの業界のプロを目指す心構えを持たせる。
・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。
・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路（コース）を選択できるよう導く。

【授業を通じての到達目標】

目指す業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
マニュアル／その他毎授業時に配布。	授業によって自宅課題あり。

回	授　業　概　要	テスト配点
1	「就職活動について　リクルートスーツの着方について」 就職スケジュール、就職支援ルール、学校推薦基準、就職活動における身だしなみ。	
2	「求人票の見方について」 人票の見方を知り、興味のある企業の求人情報を検索し、新卒採用＆中途採用における給与条件を調べる。	
3	「外部における就職活動について」 会社説明会、採用面接の形態を学び、就職活動時における職業別の適切な身だしなみを理解しする。	小テスト4点
4	「就職活動における諸対応について」 就職活動時の選考書類の送り方、電話対応、提出物、メールの送信において適切な方法を学ぶ。	
5	「面接において聞かれる質問内容について」 採用面接時に聞かれる質問内容を知り、自分の回答を考えてまとめることができるようになる。	
6	「面接における所作、話し方について」 面接練習を通して好感の持てる表情、話し方が実践できるようになる。 プレゼンテーションの実践。	小テスト4点
7	「就職活動時に提出する書類について」 就職活動時における履歴書以外の提出書類を知り、送付状、履歴書の作成が出来るようになる。	中間テスト20点
8	「面接時における自己PRの作成について」 面接時における自己PRの作成が出来るようになる。	
9	「受験先について」 目指す業界の企業を知る。数ある企業の中から受験先の候補を考える。面接練習	小テスト4点
10	「受験資料の作成」 就職活動に向けて履歴書の作成をし、面接練習を通して自分を伝えることができるようになる。	
11	「面接練習の実践、受験資料の作成」 面接練習を通して、自己PRを明確に伝えることができるようになる。	
12	「面接練習の実践、受験資料の作成」 面接練習を通して、志望動機を明確に伝えることができるようになる。	小テスト4点
13	「面接練習の実践、受験資料の作成」 面接練習を通して、表情・発声・質問に対する的確な返答ができるようになる。	小テスト4点
14	「面接練習の実践、受験資料の作成」 面接練習を通して、自分の弱点を知り改善することができるようになる。	
15	「定期試験：1年次の振り返り、就職活動における総括」履歴書の提出・模擬面接 受験先を決定し、受験に対しての準備を終えることができるようになる。	定期試験　60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	選択授業	必修選択	選択	年次	1	担当教員	中澤
学科・コース	トータルビューティー科	授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

希望職種の中から選択し、技術の幅を広げることができるようになる
今回は着付け初伝について実施をする
講師は山野流着装教室にて講師を10年以上経験している

【授業を通じての到達目標】

美容職に必要な技術を選択し、技術の幅を広げられるようになる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
適宜指示	自宅学習もあり

回	授 業 概 要	テスト配点
1	オリエンテーション　希望選択について	
2	小紋の着付けと帯結び	5点
3	体型補正から振袖長襦袢の着付け	
4	着物の本だたみ	5点
5	名古屋帯のたたみ方	
6	帯揚げの結び方	
7	帯締めの結び方	
8	中間試験	20点
9	ミスの第一礼装：振袖の知識を覚える	
10	・体型補正から振袖長襦袢の着付け	5点
11	振り返り①	
12	振り返り②	
13	準備の仕方から小紋の着付けまで	
14	総仕上げ	5点
15	定期試験	60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	化粧品検定	必修選択	必修	年次	1	担当教員	深井ルミ
学科・コース	トータルビューティー科メイクコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30時間 2単位	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

BAとして必要な基本的な化粧品や皮膚構造や働きなどについて理解する。
※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。化粧品検定1級・コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。

【授業を通じての到達目標】

基本的な肌知識、化粧品知識を修得する。化粧品検定2級合格。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
化粧品検定3・2級テキスト	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	この授業について 3級内容（～35P） この授業について理解する 間違いがちな美容知識について理解する	
2	3級内容 36～49P 間違いがちな美容知識について理解する	
3	2級内容 52～59P 皮膚構造 皮膚構造・表皮について理解する。	
4	2級内容 60～69P 皮膚構造 皮膚構造・真皮・付属器官、皮膚の機能について理解する	
5	2級内容 72～77P 肌のお手入れと正しい知識 肌タイプと見分け方 肌悩みの原因と対策について理解する 乾燥	
6	2級内容 78～83P 肌のお手入れと正しい知識 その2 肌悩みの原因と対策について理解する ニキビ・毛穴	
7	中間試験 83Pまでの内容 筆記テスト 一般的な美容知識と皮膚構造、肌悩みについて理解する。	
8	2級内容 84～89P 肌のお手入れと正しい知識 その3 肌悩みの原因と対策について理解する くすみ	
9	2級内容 90～93P 肌のお手入れと正しい知識 その4 肌悩みの原因と対策について理解する くま・しわ・たるみ	
10	2級内容 94～108P メイクアップの基本 メイクアップの基本テクニックのポイントを理解する。	
11	2級内容 112～119P 肌の劣化 肌劣化の原因と仕組みについて理解する	
12	2級内容 120～125P 紫外線が肌に与える影響 紫外線の種類、紫外線が肌に与える影響を理解する。	
13	2級内容 126～130P 効果的なマッサージ 効果的なマッサージの必要性と方法を理解する	
14	2級内容 132～139P 生活習慣と美容 美しい肌を作る生活習慣について理解する。	
15	定期試験 139Pまでの内容 筆記テスト 肌悩みとお手入れ方法、メイクの基本テクニック、肌劣化、紫外線の影響、生活習慣について理解する	

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D
評価（60～69点） E評
価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ポイント別メイク演習	必修選択	必修	年次	1	担当教員	関　亜沙美
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティー科						

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ポイントメイククレンジングからスキンケア、またメイクアップ全般の基礎テクニック、理論を学ぶ。
ひとつひとつのテクニックをしっかりと把握し、現場に通じるテクニックを修得する。

【授業を通じての到達目標】

お客様のご要望や流行のメイクアップパターン、また如何なるパターンのメイクアップデザインにも対応出来る理論とテクニックを身につける。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
プリント（補助教材）	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	【授業単元】スキンケアテクニックを学ぶ	
2	【授業単元】スキンケア・2～ベースメイクアップを学ぶ・1	小テスト4点
3	【授業単元】ベースメイクアップを学ぶ・2	
4	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・1	小テスト4点
5	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・2	
6	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・3	
7	【授業単元】中間テスト	中間テスト20点
8	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・4	
9	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・5	小テスト4点
10	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・6	
11	【授業単元】総合演習　スキンケア～フルメイク	小テスト4点
12	【授業単元】総合演習　スキンケア～フルメイク	
13	【授業単元】総合演習　スキンケア～フルメイク	小テスト4点
14	【授業単元】総合演習　スキンケア～フルメイク	
15	定期試験	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	アドバイザートレーニング演習Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	深井ルミ
学科・コース	トータルビューティー科メイクコース	授業形態	実習	総時間（単位）	60時間 4単位	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

フルメイクの反復練習で基本的なメイク技術の向上をめざす。デモンストレーションを見てメイクプロセスやポイントを書き取りメイクレシピを作成し、セルフメイクすることでテーマメイクのポイントを確実におさえ、様々なテーマに合わせたメイクができるようになる。様々なコスメを駆使してフルメイクができるようになる。
※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。

【授業を通じての到達目標】

様々なテーマメイクのポイントを理解し、イメージに合わせたアイテム選びをし、フルメイクで表現できる技術力を修得する。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
講師作成資料　ノート	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	**ナチュラルカラーメイク①デモンストレーション　セルフメイク**　この授業の目的・目標を理解する。メイクポイントノートを作成し、ナチュラルカラーメイクのPointを理解しセルフメイクできるようになる。	
2	**ナチュラルカラーメイク②相モデル実習**　モデルの顔に合わせナチュラルカラーメイクができるように	
3	**キュートメイク（ソフト）①デモンストレーション　セルフメイク**　メイクポイントノートを作成し、キュートメイク（ソフト）のPointを理解しセルフメイクできるようになる。	
4	**キュートメイク（ソフト）②　相モデル実習**　モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる	
5	**キュートメイク（ポップ）①デモンストレーション　セルフメイク**　キュートメイク（ポップ）のPointを理解しセルフメイクできるようになる。	
6	**キュートメイク（ポップ）②相モデル実習**　モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる	
7	**中間試験**　メイク実技　ノート提出　モデルの顔に合わせたテーマフルメイクができる。	
8	**クールメイク①デモンストレーション　セルフメイク**　メイクポイントノートを作成し、クールメイクのPointを理解しセルフメイクできるようになる。	
9	**クールメイク②相モデル実習**　モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる	
10	**ゴージャスメイク①デモンストレーション　セルフメイク**　メイクポイントノートを作成し、ゴージャスメイクのPointを理解しセルフメイクできるようになる。	
11	**ゴージャスメイク②相モデル実習**　モデルの顔に合わせゴージャスメイクができるようになる。	
12	**アイフォーカスメイク①デモンストレーション　セルフメイク**　メイクポイントノートを作成し、アイフォーカスメイクのPointを理解しセルフメイクできるようになる。	
13	**アイフォーカスメイク②相モデル実習**　モデルの顔に合わせアイフォーカスメイクができるようになる	
14	**リップフォーカスメイク解説　相モデル実習**　メイクポイントノートを作成し、モデルの顔に合わせリップフォーカスメイクができるようになる	
15	**定期試験**　メイク実技　ノート提出 モデルの顔に合わせたテーマフルメイクができる。	

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	タッチアップメイク演習	必修選択	必須	年次	1	担当教員	秋本
学科・コース	トータルビューティー科	授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

メイクスキルを必要とする化粧品ブランドでメイクアーティストを経て、現在バックステージ、広告、CMのヘアメイクとして活動する講師が、
BAとして必要なコミュニケーション、タッチアップのメイク技術を指導する。

【授業を通じての到達目標】

BAとして幅広い、年齢層、人種、肌色、骨格、その方の悩みが解決出来るようなメイクの提案力、
その方にあった製品の選び方、タッチアップの技術を身に付ける事が出来るようになる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
プリント（補助教材）	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	基本的なフェイスチャートの描き方レクチャー	
2	メイクブラシの使い分けのレクチャー	小テスト4点
3	ツヤ肌作りのレクチャー	
4	アイブロウとアイシャドウのレクチャー	小テスト4点
5	チーク、ハイライト、シェーディングのレクチャー	
6	カウンセリングをしてモデルのメイク悩みを聞き出す。	
7	中間試験	中間テスト20点
8	ベースメイクのおさらい。	
9	アイシャドウのコントラストの作り方レクチャー	小テスト4点
10	リキッド、ジェルライナーのひき方レクチャー	
11	リップラインのひき方レクチャー	小テスト4点
12	色の出し方、ブラシの使い方レクチャー	
13	パールとマットの使い分けレクチャー	小テスト4点
14	モデルの顔分析　シートの記入	
15	定期試験	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	スキンケアタッチアップ演習	必修選択	必須	年次	1	担当教員	林　久美子
		授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科					曜日・時間	

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

カウンセリングスキンケアアイテムの現場経験約30年の経験をふまえ、現場に近いカウンセリングができるよう指導する。

【授業を通じての到達目標】

4タイプの肌質を診断し、肌悩みを改善し、望む肌へと導けるスキンケアカウンセリングを5分間で実技する。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
プリント（補助教材）	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	【授業単元】 表皮・真皮・皮下組織の図を模写し、それぞれの名称・働きを覚える。	
2	【授業単元】 スキンケアカテゴリーについて説明・解説する。	小テスト4点
3	自らの肌を視診、問診、触診する。	
4	相モデルでお互いの肌をカウンセリングする。	小テスト4点
5	ドライスキンについての肌状態、問題点、改善点などを説明する。	
6	オイリースキンについての肌状態、問題点、改善点などを説明する	
7	中間テスト：相モデルでロールプレイング	中間テスト20点
8	年代により、異なる肌悩みを理解する	
9	ニキビの種類、肌状態、原因、改善策を知る。	小テスト4点
10	毛穴の種類、肌状態、原因、改善策を知る。	
11	シミの種類、肌状態、原因、改善策を知る。	小テスト4点
12	クマの種類、肌状態、原因、改善策を知る。	
13	シワの種類、肌状態、原因、改善策を知る。	小テスト4点
14	相モデルでのカウンセリング	
15	定期テスト	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ブランド別メイク演習	必修選択	必須	年次	1	担当教員	福島　裕司
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科					曜日・時間	

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

百貨店ブランドについて深く知り、ブランド別のイメージや商品の特徴なども理解できるようにする。
ブランドイメージのメイクアップが出来るようになる。
リサーチ力、スピーチ力を高め習得する

【授業を通じての到達目標】

ブランドの特徴や商品の違いを理解し、ブランドイメージに合わせてメイクアップができるようになる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
プリント（補助教材）	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	化粧品業界について	
2	外資系ブランド　①	小テスト4点
3	外資系ブランド　②	
4	国産ブランド　①	小テスト4点
5	国産ブランド　②	
6	リサーチ＆プレゼンテーション	
7	最新クリスマスコフレ	中間テスト20点
8	メイク実習とプレゼンテーション	
9	外資系ブランド　③	小テスト4点
10	国産ブランド　③	
11	2021年　春メイク	小テスト4点
12	人気ブランドを知る1	
13	人気ブランドを知る2	小テスト4点
14	メイク実習とプレゼンテーション	
15	メイク実習とプレゼンテーション	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名	CAA化粧品販売員検対策	年次	1年	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	講義・演習			
（英）	cosmetics	時間数	15時間	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科　メイクアップ専攻	単位	1		曜日・時間	

講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会の理事、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。
目的 科目概要	美容部員として必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ・シルバー資格を取得する。
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のブロンズ・シルバー資格を取得する。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　□ 実技試験　□ 作品

教科書	CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト ブロンズ・シルバー	事前事後学習とその内容	化粧品販売員検定取得する事により現場のOJTやブランド就職先のアプローチに繋がる。
教材	メイク道具一式		
特記事項	授業前にメイク道具をセッティング		

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析	自己紹介・化粧品業界の動向・ブランド分析　ブランドメイク実技（セルフ）
2	化粧品学（基礎）①スキンケアイテム	基礎化粧品の分類と特徴・パウダーレスのツヤ肌メイク実技
3	化粧品学（基礎）②メイクアップアイテム	仕上げ用化粧品の分類と特徴・タッチアップアイメイク実技（六分割）
4	接客販売①&タッチアップ	化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなど、タッチアップメイク実技（つり目）
5	接客販売②&タッチアップ	お客様の分類・集客・売上・販売行動・アプローチ・クロージングなど、タッチアップメイク実技（たれ目）
6	化粧品販売員検定ブロンズ　模擬テスト	ブロンズ模擬テスト、タッチアップメイク実技（丸い目）
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策
8	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験
9	化粧品学（応用）①&タッチアップ	薬事法・化粧品成分・美白成分・最新有効成分など、色相Y：イエローベースメイク実技
10	化粧品学（応用）②&タッチアップ	品質向上・安定化成分・メイクアップ構成成分・フレグランスなど、色相B：ブルーベースメイク実技
11	皮膚科学①&タッチアップ	皮膚とは・血液リンパ・季節と肌など　明度L：ライトトーンメイク実技
12	皮膚科学②&タッチアップ	スキンタイプ・肌のトラブルなど　明度D：ディープトーンメイク実技
13	スキンケアカウンセリング&タッチアップ	スキンケアカウンセリング手順など　彩度V：ビビットカラーメイク実技
14	化粧品販売員検定シルバー期末試験対策	化粧品販売員検定シルバー中間試験対策　彩度S：ソフトカラーメイク実技
15	化粧品販売員検定シルバー期末試験	化粧品販売員検定シルバー中間試験　似合わせメイクアップ実技

科目名（英）	ネイル検定演習1	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	トータルビューティー科・ネイルコース	授業形態	実習	総時間（単位）	90 4	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ネイリスト技能検定2級に合格する為に　サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ＆ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する
アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する

※日本ネイリスト協会　常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施

【授業を通じての到達目標】

ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる
カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる
アクリルネイルのイクステンション（スカルプチュアネイル、チップ＆オーバーレイ）のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができ、
フォルムが正しく均一に形成され、 表面が滑らかにつながっている

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
JNAテクニカルシステムアドバンス　JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋　セロテープ　キッチンペーパー　筆記用具　メモ帳	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	ケアカラー（相モデル）	
2	ケアカラー（相モデル）	
3	ケアカラー（相モデル）	
4	ケアカラー（相モデル）	小テスト20点
5	アクリルイクステンション　チップオーバーレイ（プラクティスハンド）	
6	アクリルイクステンション　スカルプチュアネイル（プラクティスハンド）	
7	アクリルイクステンション　スカルプチュアネイル（プラクティスハンド）	
8	アクリルイクステンション　スカルプチュアネイル（プラクティスハンド）	
9	アクリルイクステンション　チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル（プラクティスハンド）	
10	アクリルイクステンション　チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル（プラクティスハンド）	
11	アクリルイクステンション　チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル（プラクティスハンド）	
12	アクリルイクステンション　チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル（相モデル）	中間テスト20点
13	1級タイムトライアル（相モデル1人目）	
14	1級タイムトライアル（相モデル2人目）	
15	アクリルイクステンション　スカルプチュアネイル(中3本)【90分】 1限は仕込み	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
　評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	フラット＆3Dアート演習）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	トータルビューティー科・ネイルコース	授業形態	実習	総時間（単位）	60 3	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ネイリスト技能検定2級に合格する為に　サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ＆ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する
アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する
検定1級ミックスメディアアートの構成を決め、時間内に収める
コンテストの作品を作成するためにトールペイントの技術を身に見つける
基本的なジェルアートの描き方を修得し、ジェル検定中級に備える

※日本ネイリスト協会　常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施

【授業を通じての到達目標】

ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している
ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる
カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる
アクリルネイルのイクステンション（スカルプチュアネイル、チップ＆オーバーレイ）のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができる
エンボス、3Dの違いを把握し、ブラシワークを覚え模倣することができる
トールペイントのグラデーション(ダブルローディング)の技法を覚え模倣することができる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
JNAテクニカルシステムアドバンス　JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋　セロテープ　キッチンペーパー　筆記用具　メモ帳	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ(右中指)	
2	ネイリスト技能検定試験2級　タイムトライアル　※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分	
3	ネイリスト技能検定試験2級　タイムトライアル　※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分	小テスト20点
4	ネイリスト技能検定試験2級　タイムトライアル　※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分	
5	ネイリスト技能検定試験2級　タイムトライアル　※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分	中間テスト20点
6	ブラシの下ろし方、エンボスアート　丸花、尖り花	
7	エンボスアート　ハート、リボン	
8	ジェルトールペイント　グラデーションフラワー	
9	ジェルトールペイント　グラデーションフラワー	
10	アクリル3Dアート	
11	ジェルチップオーバーレイ＆ジェルアート　縦グラデーション　タイダイ（プラクティスハンド）	
12	ジェルチップオーバーレイ＆ジェルアート　縦グラデーション　タイダイ（プラクティスハンド）	
13	アクリルスカルプチュアネイル（相モデル）チップオーバーレイ2本　スカルプチュア5本	
14	アクリルスカルプチュアネイル（相モデル）チップオーバーレイ2本　スカルプチュア5本	
15	アクリルイクステンション　チップ＆オーバーレイ　スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本　スカルプチュア3本【90分】	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】
●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点
●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）
●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ジェルネイル演習	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	トータルビューティー科・ネイルコース	授業形態	実習	総時間（単位）	60 3	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ネイリスト技能検定2級に合格する為に　サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ＆ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する
アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する
検定1級ミックスメディアアートの構成を決め、時間内に収める
基本的なジェルアートの描き方を修得し、ジェル検定中級に備える

※日本ネイリスト協会　常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施

【授業を通じての到達目標】

ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している
ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる
カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる
アクリルネイルのイクステンション（スカルプチュアネイル、チップ＆オーバーレイ）のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができる
ジェルアートのグラデーション、カラーフレンチをムラなくバランス良く仕上げることができる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
JNAテクニカルシステムアドバンス　JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋　セロテープ　キッチンペーパー　筆記用具　メモ帳	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	カラー(ピンク系)、アート(左中指)　相モデル	
2	チップラップ（相モデル）	
3	チップラップ（相モデル）	
4	チップラップ（相モデル）	小テスト20点
5	ジェルカラーリング＆ピーコック　オフ【中3本】 自爪	
6	ジェルカラーリング＆ピーコック　オフ【中3本】 相モデル	中間テスト20点
7	ジェルグラデーション（チップ） タッピング技法・グラデーションブラシ技法	
8	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 フリーエッジ1cm程度、カットスタイル　スクエア	
9	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 フリーエッジ2cm程度、カットスタイル　スクエア	
10	ジェルアート　縦グラデーション　タイダイ（チップ）	
11	ジェルチップオーバーレイ＆ジェルアート　縦グラデーション　タイダイ（プラクティスハンド）	
12	ジェルチップオーバーレイ＆ジェルアート　縦グラデーション　タイダイ（プラクティスハンド）	
13	アクリルスカルプチュアネイル（相モデル）チップオーバーレイ2本　スカルプチュア5本	
14	アクリルスカルプチュアネイル（相モデル）チップオーバーレイ2本　スカルプチュア5本	
15	アクリルイクステンション　チップ＆オーバーレイ　スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本　スカルプチュア3本【90分】	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	イクステンション演習	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	トータルビューティー科・ネイルコース	授業形態	実習	総時間（単位）	60 3	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ネイリスト技能検定2級に合格する為に　サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ＆ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を身に付ける
ネイリスト検定1級検定試験合格する為に　アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を身に付ける
コンテストの作品を作成するためにジェルネイルの基本的知識とを理解し、チップオーバーレイ、アートの技術を身に見つける

※日本ネイリスト協会　常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施

【授業を通じての到達目標】

ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している
ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる
カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる
アクリルネイルのイクステンション（スカルプチュアネイル、チップ＆オーバーレイ）のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができる
ジェルネイルのイクステンション（チップ＆オーバーレイ）のアプリケーション、ベースアート、トップジェルまで仕上げることができる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
JNAテクニカルシステムアドバンス　JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋　セロテープ　キッチンペーパー　筆記用具　メモ帳	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	チップラップ(右中指)　相モデル	
2	ネイリスト技能検定試験2級　タイムトライアル55分　※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)	
3	ネイリスト技能検定試験2級　タイムトライアル55分　※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)	
4	ネイリスト技能検定試験2級　タイムトライアル55分　※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)	小テスト20点
5	アクリル教材説明、検定シール貼付、ブラシの下ろし方、アクリルネイルの基礎知識を修得する ミクスチュア作成(大、中、小)1cm×1cmの四角形で厚み1mmにプレスしたミクスチュア	
6	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル)　プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ1cm程度のスクエアで薄く仕上げる	
7	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル)　プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ1cm程度のスクエアで薄く仕上げる	
8	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル)　プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ1cm程度のスクエアで薄く仕上げる	
9	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル)　プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ2cm程度のスクエアで薄く仕上げる	
10	ジェルアート　縦グラデーション　タイダイ（チップ）	
11	ジェルチップオーバーレイ＆ジェルアート　縦グラデーション　タイダイ（プラクティスハンド）	
12	ジェルチップオーバーレイ＆ジェルアート　縦グラデーション　タイダイ（プラクティスハンド）	中間テスト20点
13	アクリルスカルプチュアネイル（相モデル）TO2本　スカ5本	
14	アクリルスカルプチュアネイル（相モデル）TO2本　スカ5本	
15	アクリルイクステンション　チップ＆オーバーレイ　スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本　スカルプチュア3本【90分】	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ネイル検定対策＆特別授業(集中)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	実習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時間	後期
学科・ｺｰｽ	トータルビューティー科・ネイルコース						

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ネイリスト技能検定2級に合格する為に　サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ＆ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する
アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する

※日本ネイリスト協会　常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施

【授業を通じての到達目標】

ネイリスト技能検定２級に合格できるレベルに達している
ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる
カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる
アクリルネイルのイクステンション（スカルプチュアネイル、チップ＆オーバーレイ）のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができ、
フォルムが正しく均一に形成され、 表面が滑らかにつながっている

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
JNAテクニカルシステムアドバンス　JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋　セロテープ　キッチンペーパー　筆記用具　メモ帳	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	ネイリスト技能検定試験2級　タイムトライアル　※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)　55分	
2	ネイリスト技能検定試験2級　タイムトライアル　※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)　55分	小テスト20点
3	教材説明　ジェルの基礎知識(プリント)　ブラシの下ろし方　ジェルの管理と保管 プレパレーション　ジェルカラーリング（赤）　ジェルオフ　過去問題は配布　（自爪）	
4	アクリル　フローター（プラクティスハンドでショート、ロング）、ファイリング基礎	
5	アクリルイクステンション　チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル（プラクティスハンド）	
6	アクリルイクステンション　チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル（プラクティスハンド）	
7	アクリルイクステンション　チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル（プラクティスハンド）	
8	アクリルイクステンション　チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル（プラクティスハンド）	
9	アクリルイクステンション　チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル （プラクティスハンド）	
10	アクリル　スカルプチュアネイル3本　チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)	
11	アクリル　スカルプチュアネイル3本　チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)	
12	アクリル　スカルプチュアネイル3本　チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)	中間テスト20点
13	アクリル　スカルプチュアネイル3本　チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)	
14	アクリル　スカルプチュアネイル3本　チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)	
15	アクリルイクステンション　チップ＆オーバーレイ　スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本　スカルプチュア3本【90分】	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】
●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点
●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）
●評価方法
　評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	皮膚学	必修選択		年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科	授業形態	講義	総時間（単位）	３０（２）	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

皮膚の基本知識を深め、肌質に合わせて適切なお手入れ方法や推奨トリートメントなどアドバイスができるようになる。※講師はエステティシャンとして現在まで数多くの客様の美容上のお悩みやケアをする経験を持ち、日本エステティック協会及び日本エステティック業協会の認定エステティシャンが担当する。

【授業を通じての到達目標】

皮膚の働きと仕組みを理解し、肌質にあったスキンケア方法や肌を美しく健康に保つための基礎知識を習得する。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
AEA皮膚科学、新エステティック学理論	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	皮膚の構造　AEA　P.6～１３　新エステティック　P.１２６～１３０	
2	皮膚の構造　AEA　P.１４～１９　新エステティック　P.１２６～１３０	小テスト４点
3	皮膚の付属器官　AEA　P.２０～３０　新エステティッ　クP.１２６～１３０	
4	皮膚の生理機能と皮膚の働き　AEA　P.３４～４１　新エステティック　P.１３５～１５０	小テスト４点
5	肌トラブルの要因（ストレス・自律神経・ホルモン・免疫）AEA　P.４６～５３　新エステティック　P.１５１～１５４	
6	肌トラブルの要因（内臓・血液循環・栄養・生活習慣・ケア）AEAP.５４～６４　新エステティックP.１５１～１５４	
7	中間テスト（筆記試験）	中間テスト２０点
8	肌タイプとタイプ別スキンケア　AEA　P.６５～７０　新エステティック　P.１５１～１５４	
9	肌の老化とケア（加齢・紫外線・シワ）　AEA　P.７４～８４　新エステティック　P.１６２～１７６	小テスト４点
10	シミ・その他の老化現象　AEA　P.８５～９０　新エステティック　P.１６２～１７６	
11	敏感肌と皮膚疾患　AEA　P.９４～１０７　新エステティック　P.１７７～１８３	小テスト４点
12	ニキビ・その他　AEA　P.１０８～１２４　新エステティック　P.１７７～１８３	
13	肌タイプを理解し、肌の見極め・肌分析　新エステティック　P.１９５～２０５	小テスト４点
14	肌分析、コンサルテーション　新エステティック　P.１９５～２０５	
15	定期試験（筆記試験）	定期試験６０点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価

Ａ評価（90～100点）/Ｂ評価（80～89点）/Ｃ評価（70～79点）　Ｄ評価（60～69点）

Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）/Ｆ評価（0～59点・不合格）

科目名（英）	解剖生理学	必修選択	必修	年次	1	担当教員	佐野　みゆき
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	TB科　エステティシャンコース						

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

エステティシャンとして施術に必要な骨格、筋肉、循環器系、神経系について学ぶ

【授業を通じての到達目標】

ボディ実技と連動して理解でき、コンサルテーションに反映できるようにする

【使用教科書・教材・参考書】

AEAテキスト「解剖生理学」　／日本エステティック協会選択科目

【授業外における学習】

回	授　業　概　要	回	授　業　概　要
1	【授業単元】 骨と筋肉の1.役割　2.機能　3.構造 【到達目標】 全身の骨、筋肉について学ぶ	9	【授業単元】 内分泌系　ホルモン② 【到達目標】 性ホルモン、副腎について覚える
2	【授業単元】 関節運動と筋肉の関係 【到達目標】 骨と筋肉の連動運動について知る	10	【授業単元】 免疫系 【到達目標】 免疫の1.仕組み　2.種類　3.機能　4.役割について覚える
3	【授業単元】 循環器系の役割 【到達目標】 血液、血管の構造、機能、役割を覚える	11	【授業単元】 呼吸器、泌尿器系 【到達目標】 肺、腎臓の1.構造　2.機能　3.役割について覚える
4	【授業単元】 循環器系　リンパの役割、働き 【到達目標】 リンパの1.構造　2.機能　3.循環　4.むくみについて覚える	12	【授業単元】 消化器系① 【到達目標】 口腔、咽頭、食道、胃について1.構造　2.機能　3.役割を覚える
5	【授業単元】 神経系　中枢神経 【到達目標】 1.神経系の種類　2.脳の構造　3.脳の働きについて覚える	13	【授業単元】 消化器系② 【到達目標】 肝臓、小腸、大腸、肛門について1.構造　2.機能　3.役割を覚える
6	【授業単元】 神経系　末梢神経 【到達目標】 1.自律神経　2.体性神経について覚える	14	【授業単元】 代謝と体温 【到達目標】 代謝の調節、体熱生産・放散、体温調整について覚える
7	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 筋・骨格、循環器、神経系より四択問題及び記述式試験	15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 内分泌系、免疫系、呼吸器系、泌尿器系、消化器系、代謝についての四択問題および記述式試験
8	【授業単元】 内分泌系　ホルモン① 【到達目標】 ホルモンの1.構造　2.機能　3.役割について覚える 甲状腺、膵臓、成長ホルモンについて覚える		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価

A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）

E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	エステティック理論Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	佐野　みゆき
		授業形態	講義	総時間（単位）	15 1	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	TB科　エステティシャンコース						

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

エステティシャンとしてホームケアアドバイスができるようになる為の基礎知識をつける　（栄養学・化粧品学・運動生理学）

【授業を通じての到達目標】

エステティシャンとしてホームケアアドバイス(食事、運動、化粧品)ができるようになる
資格取得検定にて必要なコンサルテーションシートにアドバイスが記載できるようになる

【使用教科書・教材・参考書】

AEAテキスト、新エステティック学　理論編Ⅱ

【授業外における学習

回	授　業　概　要	回	授　業　概　要
1	【授業単元】 栄養学① 【到達目標】 ・５大栄養素、栄養素の種類を知る	9	【授業単元】 運動生理学② 【到達目標】 ・運動と代謝、運動とアンチエイジングについて知る
2	【授業単元】 栄養学② 【到達目標】 ・栄養価　栄養所要量を知る ・食物摂取とその消化吸収　栄養学からみた食品を知る	１０	【授業単元】 運動生理学③ 【到達目標】 ・運動時の姿勢やポジショニングについて知る
3	【授業単元】 栄養学③ 【到達目標】 ・健康と栄養の関わりについて理解する ・肥満の判定について知る	１１	【授業単元】 運動生理学④ 【到達目標】 ・運動を実践し、筋肉の動き方、使い方を知る
4	【授業単元】 栄養学④ 【到達目標】 ・中老年期の栄養摂取について知る ・サプリメントの摂取方法について知る ・食品添加物について知る	１２	【授業単元】 ホームケアアドバイスの実践① 【到達目標】 お客様のお肌悩みに応じたアドバイスが出来るようになる
5	【授業単元】 化粧品学① 【到達目標】 ・化粧品の基礎知識を学ぶ ・フェイシャル化粧品について知る	１３	【授業単元】 ホームケアアドバイスの実践② 【到達目標】 お客様のお体悩みに応じたアドバイスが出来るようになる
6	【授業単元】 化粧品学② 【到達目標】 ・化粧品の目的を理解する ・ボディ化粧品について知る	１４	【授業単元】 ホームケアアドバイス③ 【到達目標】 お客様のお肌、お体の様々な悩みに応じたアドバイスが出来るようになる
7	【授業単元】 栄養学・化粧品学復習 【到達目標】 ・食事、化粧品についてホームケアアドバイスが出来るようになる	１５	【授業単元】 コンサルテーションシート作成 【到達目標】 お客様の悩みに応じたホームケアアドバイスをコンサルテーションシートに記入できる
8	【授業単元】 運動生理学① 【到達目標】 ・運動の必要性　運動の効果　筋肉について知る		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価

Ａ評価（90～100点）/Ｂ評価（80～89点）/Ｃ評価（70～79点)/Ｄ評価（60～69点）

Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）/Ｆ評価（0～59点・不合格）

科目名（英）	フェイシャル演習	必修選択	必修	年次	1	担当教員	田畑　優子
学科・コース	トータルビューティー科エステ分野	授業形態	実習	総時間（単位）	120（8）	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

フェイシャルエステティックの流れや目的・効果・禁忌事項などが理解できたうえでトリートメントが提供できるようになる。また今後の資格試験の実技試験に合格するための技術、知識を身につける

※講師はエステティシャンとして数多くのお客さまの美容上のお悩みをケアした経験を持つ（講師歴12年目）。
※保有資格：AEA認定講師、AJESTHE認定講師、AJESTHE認定トータルエステティックアドバイザー、CIDESCOインターナショナルエステティシャン、美容師免許

【授業を通じての到達目標】

フェイシャルエステティックができるようになる
・クレンジング、ディープクレンジング、マッサージ、パック、整肌

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
AJESTHE教科書（新エステティック学　技術編）、実技準備物一式	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	フェイシャルエステティックの一連の流れ、準備の仕方、ポイントクレンジングについて セッティング、誘導、ターバン巻き、ポイントメイク落としの流れができるようになる	
2	クレンジング、拭き取り ポイントメイク落とし、クレンジング、スポンジ、コットン、スチームタオルでの拭き取りができるようになる	小テスト　4点
3	フェイシャルマッサージ（6手技）について、フェイシャルマッサージ軽擦法 クレンジング、マッサージの軽擦法ができるようになる	
4	フェイシャルマッサージ強擦法、揉撚法 マッサージの強擦法、揉撚法ができるようになる	小テスト　4点
5	フェイシャルマッサージ打法、振動法、圧迫法、軽擦法② マッサージの打法、振動法、圧迫法、軽擦法②ができるようになる	
6	パック クレンジング、マッサージ、パック、整肌の流れができるようになる	
7	中間テスト クレンジング、拭き取り、フェイシャルマッサージ、パック、整肌	中間テスト　20点
8	ディープクレンジング（ゴマージュ粒子なし） 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる	
9	ディープクレンジング（ゴマージュ粒子あり） 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる	小テスト　4点
10	ディープクレンジング（酵素）、スチーマーの使用方法 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる	
11	ディープクレンジング（ブラシクレンジング） 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる	小テスト　4点
12	ディープクレンジング（吸引） 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる	
13	ディープクレンジング（エレクトロクレンジング） 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる	小テスト　4点
14	フェイシャル一連の流れ クレンジング、ディープクレンジング、マッサージ、パック、整肌の一連の流れができるようになる	
15	定期試験 クレンジング、ディープクレンジング、マッサージ、パック、整肌	定期試験　60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ボディ演習	必修選択	必修	年次	1	担当教員	福岡　佐智代
		授業形態	実習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	エステビューティセラピーコース						

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ハンド･機器テクニックによるボディトリートメントの基礎を理解し、技術、接客の基礎が習得できるようになる。
※エステティック講師、エステティシャンとして長年経験し、現在まで数多くのお客様方のケアをしている

【授業を通じての到達目標】

ボディの観察（ボディチェック）、マッサージを修得する。正しく安全にボディ機器を操作する。

【使用教科書・教材・参考書】

日本エステティック協会『新エステティック学−技術編Ⅰ』、ボディ実技準備物一式

【授業外における学習】

回	授　業　概　要
1	【授業単元】腰背部ボディマッサージについて(P,77～80) 【到達目標】 腰背部の注意点（採寸法・打法の強さ、筋肉の位置）を理解し、マッサージできるようになる
2	【授業単元】上肢マディマッサージについて(P,83～85) 【到達目標】 下肢との違いを理解し、マッサージできるようになる
3	【授業単元】腹部・デコルテマッサージについて(P,86～90) 【到達目標】 腹部、デコルテの筋肉を理解しながらマッサージを行う。力加減を意識して行う。
4	【授業単元】ボディの観察(ボディチェック)について(P,55・91～94) 【到達目標】 ボディチェック(採寸・筋肉・脂肪・姿勢その他トラブル等）ができるようになる。
5	【授業単元】ボディの観察(ボディチェック)について ボディマッサージについて 【到達目標】 ボディチェックをスムーズに行うことができる。ボディマッサージを強弱・リズム・密着・姿勢を意識し行うことができる。
6	【授業単元】ボディマッサージの一連の流れについて 【到達目標】 全身のマッサージがテキストを見ずにスムーズにできるようになる。
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】 ご案内～全身のマッサージ～拭き取りの一連の流れ
8	【授業単元】ボディ機器について（P63） 吸引(サクション)の目的と効果、下肢のトリートメント(P,63) 【到達目標】 サクションの効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく扱うことができるようになる。

回	授　業　概　要
9	【授業単元】コンサルテーションシートについて サクションについて　上半身（腰背部・上肢・腹部） 【到達目標】 コンサルテーションシートを用い、ボディチェックに基づき施術内容を組み立てられるようになる。 全身のリンパの流れを理解し、サクションを行うことができる。
10	【授業単元】バイブレーターについて(P,60～62) バイブレーターの目的と効果、トリートメント 【到達目標】 バイブレーターの効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく扱うことができるようになる。
11	【授業単元】低周波について（P59～60） 低周波の目的と効果、トリートメント 【到達目標】 低周波の効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく施術することができる。
12	【授業単元】低周波について 【到達目標】 全身の筋肉の名称と位置を理解し、的確なパット位置を選ぶことができる。
13	【授業単元】ボディ機器について 【到達目標】 それぞれの機器の特徴を理解し、ボディタイプに合わせたトリートメントを行うことができる。
14	【授業単元】ボディエステティックの流れ コンサルテーションシ～ボディ機器～仕上げ 【到達目標】 ボディエステティックの流れが時間を意識して行えるようになる
15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】 実技試験　ご案内～コンサルテーション（ボディチェック含む）～ボディ機器～仕上げの一連の流れ

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点)/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【特記事項】

科目名（英）	サロン演習	必修選択	必修	年次	1	担当教員	小野ありさ
学科・コース	トータルビューティ科　エステコース	授業形態	実習	総時間（単位）	30（2）	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

プロのエステティシャンとしての所作、振る舞いを学ぶ　各種テクニッ
クを理解し技術の習得を目指す　講師は現役エステティシャン
であり、現在までに数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアした経験を持ち、副店長、店長経験のある講師が担当する

【授業を通じての到達目標】

各トリートメント内容(目的・効果)を理解し接客を想定し説明、トリートメントができるように実施する

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
各トリートメントのテキスト(プリント)・実技準備物一式	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	お客様を迎える準備、接客、誘導、ご案内	
2	フェイシャルの基本技術(クレンジング)	
3	フェイシャルマスクについて(ジェルマスク)	
4	フェイシャルマスクについて(クリームマスク)	4点
5	施術の流れを通して効率の良い動きを学ぶ	
6	施術の流れを通して効率の良い動きを学ぶ	4点
7	コースメニューの実施	中間テスト実施20点
8	コースメニューの実施、コース紹介ツールの作成	
9	2年生学生サロン体験	4点
10	コースメニューの実施	
11	コースメニューの実施	4点
12	外部のお客様に対してコースメニューの実施、コース紹介を行う	4点
13	実際にお客様にコースメニューを実施しての反省、振り返り	
14	外部のお客様に対してコースメニューの実施、コース紹介を行う	
15	外部のお客様に対してコースメニューの実施、コース紹介を行う	定期試験実施60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ファッション概論 Fashion outline	必修選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋　直哉
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ファッション業界の第一線で活躍するためのファッションの総合的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う

※講師：エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う

【授業を通じての到達目標】

ファッション業界の第一線で働くための、基本的なファッション知識の習得とファッション業界についての業務内容などを理解をする

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
授業毎にプリントを配布	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	ファッション基礎知識の復習、接客知識の習得 業界で働く上で必要なファッション基礎知識の振り返りを行い、接客に活かせるようにする	
2	ファッションの業態を知ることでファッションの幅を知る ファッション、小売店舗の種類の理解してファッション業界の幅を知る	4
3	ファッション業界についての業務理解① 販売職に必要な知識や、業務内容の理解。 （業種、職種のことを理解して、色々な業務との繋がりを知る）	
4	ファッション業界についての理解② MD、VMD、バイヤー、商品企画、生産、商品管理とは？商品部署の業務内容の理解。	
5	ファッション業界についての理解③ PR（プレス）、マーケティングとは？広報部署の業務内容の理解。	4
6	ファッション業界についての理解④ 本部業務やファッションを取り巻く職種についての理解。（ファッション業界に付随しているメーカーなどの業務内容の理解）	
7	中間テスト 筆記テスト（50分）、回答（10分） ファッション業界についての業務、職務内容についての説明	20
8	雑誌、WEBからメイク、コスメのトレンド、流れを理解する コスメ、メイク業界のファッションについての理解をして、ファッションのトータルコーディネートを考える （「vogue」「ELLE」「WWD」からアパレル以外の情報を得る）	
9	ショップリサーチ（実際に接客を受けて、販売職の仕事を知る） ショップリサーチを行い、販売員の現場での動きや、お客様への対応を知る	4
10	ファッション業界の基本シーズンの理解 SS、AWとは？シーズンとは？いつからシーズンは始まる？などファッション業界の基本シーズンの理解。	
11	ファッショントレンドの流れを理解して、デザイン、ブランドのことを理解する 今のトレンドを理解していく上で必要な、日本のファッショントレンドの理解する	4
12	ファッショントレンドの流行色の理解を深める トレンド、時代背景から流行色やファッションを理解する	
13	ファッショントレンドを知るための5大コレクションについての理解 5大コレクションの流れ（メンズ、ウィメンズ）とコレクションブランドの把握をして、ファッショントレンドを理解する	4
14	定期テスト準備 ファッション業界についての業務理解、ファッション知識の復習	
15	定期試験 筆記テスト（60点）、回答（20分） ファッション、トレンドについての用語説明など	60

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ファッションメイキング基礎講座 Fashion making 1	必修選択	必修	年次	1	担当教員	若井りさ
学科・ｺｰｽ		授業形態	講義・実習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

スタイリストとして各種雑誌やアーティストの衣装制作・スタイリング、インテリアスタイリング、ディスプレイ、マーチャンダイズ デザインや企画、などを行い活動の幅は多岐にわたる講師が、バックヤードの基本技法と道具の使い方を教え、洋服の構成、ショーのバックヤードに於ける 裾上げ・袖の調整などの微調整技術と知識を得ることができる。

【授業を通じての到達目標】

洋裁方法を組み合わせ、小物作品やリメイク作品を仕上げる

【使用教科書・教材・参考書】

プリント教材、裁縫セット

【授業外における学習】

回	授　業　概　要	回	授　業　概　要
1	【授業単元】 クラスター分析表 【到達目標】 自分のファッション傾向を考察する（雑誌、はさみ、カッター、他）	9	【授業単元】 リメイクデザイン–1 【到達目標】 デザイン画を描く
2	【授業単元】 クラスター分析表 【到達目標】 表を仕上げて提出	１０	【授業単元】 リメイクデザイン–2 【到達目標】 リメイクするアイテムを実際に組み立ててみる
3	【授業単元】 くまちゃんを作る–1 【到達目標】 生地の扱い方を知る（アイロンのかけ方、布目について、型紙のとり方 等）	１１	【授業単元】 リメイクデザインー３ 【到達目標】 制作
4	【授業単元】 くまちゃんを作るー２ 【到達目標】 本体を縫い上げる	１２	【授業単元】 リメイクデザインー４ 【到達目標】 制作
5	【授業単元】 くまちゃんを作るー３ 【到達目標】 本体を縫いあげ中綿をつめる	１３	【授業単元】 リメイクデザインー５ 【到達目標】 制作
6	【授業単元】 ミシン（直線縫いで巾着袋を作る）–1 【到達目標】 ミシンの扱い方を知る（袋縫いの方法）	１４	【授業単元】 リメイクデザインー６ 【到達目標】 制作
7	【授業単元】 ミシン（直線縫いで巾着袋を作る）–2 【到達目標】 巾着袋を仕上げ、くまちゃんを縫いつける	１５	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 リメイクした物の撮影
8	【授業単元】 ミシン（ミシンと手縫い作品の仕上げ）ー３ 【到達目標】 作品提出・中間テスト：巾着袋を仕上げ、くまちゃんを縫いつける		

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価

Ａ評価（90～100点）/Ｂ評価（80～89点）/Ｃ評価（70～79点)/Ｄ評価（60～69点）

Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）/Ｆ評価（0～59点・不合格）

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	接客販売ロールプレイ Sales roll play	必修選択	必修	年次	1	担当教員	坂本龍一
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

接客販売トレーニング＆コンサルティング事務所の代表を努め、数多くの業態で店舗売り上げ日本一を獲得実績を持つ講師が、店頭において行う接客販売の基礎知識とお客様の購買行動について演習・講義を行いそれに応じた接客の仕方を身につける

【授業を通じての到達目標】

・店頭において接客販売が一人前にできる状態を目指す

【使用教科書・教材・参考書】

・SC協会DVD
・接客会話攻略ハンドブック

【授業外における学習】

回	授 業 概 要	テスト配点
1	入社後の目標確認/接客販売の仕事理解/購買行動の変化 ファッション業界で行われる接客の必要性・重要性を理解する お客様の購買行動の変化を知る	
2	体験事例共有/購買心理/求められる販売行動 接客販売への理解/ショップの年間の流れを理解する お客様の購買心理と購買行動を知る	4
3	接客用語/敬語/店頭用語/立ち居振る舞いについて 接客販売基礎を学び接客の基礎を実践出来るようになる	
4	接客用語（外語学） 外国語での販売基礎を学び、多様なお客様に対応ができるようになる	
5	表情・挨拶・待機姿勢/店頭での動き方（ロールプレイ） 第一印象の重要性を知る/第一印象良く過ごせるようになる	4
6	ウォッチング/ファースト＆セカンドアプローチ（ロールプレイ） ウォッチング（観察）とアプローチを知ることができる	
7	筆記テスト/ロールプレイ演習実技（各自2分間ずつ） 中間テスト（20点） 接客基礎と考え方の確認	20
8	メリット・デメリット・ベネフィット/セリングポイント 商品説明・紹介トークができるようになる	
9	ニーズとウォンツ/ニーズの引き出し方/お客様への質問の仕方 ニーズとウォンツを理解し、ヒアリングができるようになる	4
10	提案（プレゼンテーション）のポイント/買いたくなる提案の仕方 提案力を身につけ、商品提案ができるようになる	
11	クロージング/販売員主導の接客とお客様主導の接客/お見送り作法 クロージングとお見送りを学び、接客を完結させられるようになる	4
12	リピーターを作る重要性/リピーターを作る仕組み リピーターづくりを学び、継続的な売上確保が必要な重要性を知る	
13	接客ロールプレイ演習 ロールプレイ演習実技（入店～お見送りまで）ができるようになる	4
14	定期試験準備 ロールプレイ演習実技の復習（入店～お見送り） 定期試験準備	
15	ロールプレイ演習実技試験（各自7分間ずつ）/実技ふりかえり 定期試験（60点）	60

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ファッションビジネス Fashion business	必修選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋　直哉
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ファッション業界の第一線で活躍するためのファッションの総合的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う

※講師：エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う

【授業を通じての到達目標】

マーチャンダイジング・ヴィジュアルマーチャンダイジングの仕事について理解することができる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
授業毎にプリントを配布	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	ファッション基礎知識の復習、接客知識の習得 業界で働く上で必要なファッション基礎知識の振り返りを行い、接客に活かせるようにする	
2	ファッションの業態を知ることでファッションの幅を知る ファッション、小売店舗の種類の理解してファッション業界の幅を知る	4
3	ファッション業界についての業務理解① 販売職に必要な知識や、業務内容の理解。 （業種、職種のことを理解して、色々な業務との繋がりを知る）	
4	ファッション業界についての理解② MD、VMD、バイヤー、商品企画、生産、商品管理とは？商品部署の業務内容の理解。	
5	ファッション業界についての理解③ PR（プレス）、マーケティングとは？広報部署の業務内容の理解。	4
6	ファッション業界についての理解④ 本部業務やファッションを取り巻く職種についての理解。（ファッション業界に付随しているメーカーなどの業務内容の理解）	
7	中間テスト 筆記テスト（50分）、回答（10分） ファッション業界についての業務、職務内容についての説明	10
8	雑誌、WEBからメイク、コスメのトレンド、流れを理解する コスメ、メイク業界のファッションについての理解をして、ファッションのトータルコーディネートを考える （「vogue」「ELLE」「WWD」からアパレル以外の情報を得る）	
9	ショップリサーチ（実際に接客を受けて、販売職の仕事を知る） ショップリサーチを行い、販売員の現場での動きや、お客様への対応を知る	4
10	ファッション業界の基本シーズンの理解 SS、AWとは？シーズンとは？いつからシーズンは始まる？などファッション業界の基本シーズンの理解。	
11	ファッショントレンドの流れを理解して、デザイン、ブランドのことを理解する 今のトレンドを理解していく上で必要な、日本のファッショントレンドの理解する	4
12	ファッショントレンドの流行色の理解を深める トレンド、時代背景から流行色やファッションを理解する	
13	ファッショントレンドを知るための5大コレクションについての理解 5大コレクションの流れ（メンズ、ウィメンズ）とコレクションブランドの把握をして、ファッショントレンドを理解する	4
14	定期テスト準備 ファッション業界についての業務理解、ファッション知識の復習	
15	定期試験 筆記テスト（60点）、回答（20分） ファッション、トレンドについての用語説明など	60

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	セルフブランディング Self blanding practice	必修選択	必修	年次	1	担当教員	矢澤　勇
学科・コース	TB科ファッション専攻	授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

講師経緯：ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師が様々なお客様へのスタイリング方法を教えまた、スタイリストとしての仕事について実習・講義を行い学生たちがアドバイザーだけではなくスタイリストアシスタントしても活躍できる知識を得ることができる。

【授業を通じての到達目標】

お客様にあったスタイリングを提案し的確なコーディネートを組む事ができるようになる。また、スタイリングについての理解を深め実践出来るようになる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授　業　概　要	テスト配点
1	科目オリエンテーション 1回目～15回目までの授業の流れを確認し授業の目的を理解できる。	
2	ターゲット別コーディネート① 10～20代をターゲットにしたコーディネートを学び習得できるようになる	4
3	ターゲット別コーディネート② 10～20代をターゲットにしたコーディネートを学び習得できるようになる	
4	ターゲット別コーディネート③ 40代以上をターゲットにしたコーディネートを学び習得できるようになる	
5	マテリアル別コーディネート① 素材によるコーディネートを学び素材別の提案を習得する	4
6	マテリアル別コーディネート② 素材によるコーディネートを学び素材別の提案を習得する	
7	中間テスト 1回目～6回目までの内容の総復習をし、コーディネートに対する理解を深める事ができる	20
8	トレンドスタイリング① トレンドアイテム（トップス）を取り入れたコーディネートを学び習する	
9	トレンドスタイリング② トレンドアイテム（ボトムス）を取り入れたコーディネートを学び習する	4
10	トレンドスタイリング③トレンドアイテム（小物）を取り入れたコーディネートを学び習する	
11	スタイリストワーク① スタイリストとしての現場での働き方を学び理解する	4
12	スタイリストワーク② スタイリストとしての現場での働き方を実践し習得する事ができる	
13	テストに向けての準備① 1回目～12回目までの内容を総復習し、スタイリング・プレゼンチェックを行い理解を深める	4
14	テストに向けての準備② 1回目～12回目までの内容を総復習し、スタイリング・プレゼンチェックを行い理解を深める	
15	定期試験 1回目～14回目までの総復習を行い授業全体の理解を深める事ができる。	60

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	トレンドリサーチ Trend research	必修選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋　直哉
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ファッション業界の第一線で活躍するために必要な情報発信やリサーチ方法を習得し、それを現場で活かしていく知識と実践方法を習得する

※講師：エストネーションカンパニーにて管理職として就業中、マーケットのトレンド、ニーズに合わせた売り場作りや商品企画などを実践。

【授業を通じての到達目標】

マーケティングの基礎を学ぶことでファッション業界全般（アパレル、服飾雑貨、ヘアメイクなど）のトレンドの把握、理解をする

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
授業毎にプリントを配布	店舗リサーチ

回	授　業　概　要	テスト配点
1	トレンド発信についての理解 トレンドの情報発信はどこから行われているのか、各ブランド、メーカーはどのようにトレンドを作り出しているのかを理解理解する。	
2	SNSでのトレンド発信についての理解 SNSを利用したマーケティング戦略はどのようなものがあるのか？ 実際にSNSを活用しているブランドを考察し理解する	4
3	雑誌でのトレンド発信についての理解 雑誌を利用したマーケティング戦略はどのようなものがあるのか雑誌からトレンド発信を理解する	
4	年代別トレンドのマーケット市場の調査と理解① SNS、雑誌、WEBから20代ファッションのトレンド（アパレル、服飾雑貨、コスメ、ヘアメイク）を調べて市場を理解する	
5	年代別トレンドのマーケット市場の調査と理解② SNS、雑誌、WEBから30代ファッションのトレンド（アパレル、服飾雑貨、コスメ、ヘアメイク）を調べて市場を理解する	4
6	年代別トレンドのマーケット市場の調査と理解③ SNS、雑誌、WEBから40代ファッションのトレンド（アパレル、服飾雑貨、コスメ、ヘアメイク）を調べて市場を理解する	
7	中間テスト 筆記試験（20点）	20
8	ラグジュアリーブランド（メゾンブランド）のトレンド理解 雑誌、SNS、WEBからラグジュアリーブランドが発信しているトレンドを考察し理解する	
9	ヘアメイク業界のトレンド調査と理解 今期トレンドのヘア、メイクのトレンド調査（マーケティング調査）を行い、ファッション全般との連動を理解する	4
10	70～'90のトレンド調査とトレンド理解 '70～'90のファッション全般（ヘア、メイク含む）のトレンドをWEBや雑誌から調べ、理解する	
11	5大コレクションの調査と各コレクションの流れの理解 5大コレクションの流れやコレクションブランドの調査とブランド理解する	4
12	ジュエリーブランドのトレンド理解 ジュエリーブランドのトレンド調査を行い、アパレル、ヘアメイクとのコーディネートでの見せ方を理解する	
13	トレンド調査プレゼン作成① ファッション業界でのトレンド（アパレル、服飾雑貨、ジュエリー、メイク）を調査し、プレゼン資料作成	4
14	トレンド調査プレゼン作成② ファッション業界でのトレンド（アパレル、服飾雑貨、ジュエリー、メイク）を調査し、プレゼン資料作成	
15	定期試験筆記試験 トレンド調査プレゼンシート（60点）	60

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	原宿ファッション文化論 Harajuku fashion culture theory	必修選択	必修	年次	1	担当教員	中村　友紀
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時間	後期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

原宿をはじめとした服飾文化に精通した講師が、原宿（渋谷）のファッションカルチャーについて講義を実施する

【授業を通じての到達目標】

原宿ファッションの成り立ちや時代に合わせた変化・発信の方法を知り理解することができるようになる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授　業　概　要	テスト配点
1	1980 年代　カウンターカルチャーとしてのストリートファッションについて①	
2	1980 年代　カウンターカルチャーとしてのストリートファッションについて②	
3	1990年代の渋谷・原宿ファッションの変動について①	4
4	1990年代の渋谷・原宿ファッションの変動について②	
5	2000年台の渋谷・原宿ファッションの変動について①	4
6	2000年台の渋谷・原宿ファッションの変動について②	
7	中間テスト	20
8	原宿独自のファッション文化の確立について①	
9	原宿独自のファッション文化の確立について②	4
10	リバイバルファッションとは？①	
11	リバイバルファッションとは？②	4
12	ファッション業界におけるテクノロジーの台頭について①	
13	ファッション業界におけるテクノロジーの台頭について②	4
14	ファッション業界におけるテクノロジーの台頭について③	
15	定期テスト	60

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	検定対策Ⅰ（Official overall practice）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	坂本龍一
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時間	前期

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

接客販売トレーニング＆コンサルティング事務所の代表を努め、数多くの業態で店舗売り上げ日本一を獲得実績を持つ講師による、指導のもと、ファッション販売能力検定3級資格取得を目指す。
検定のテキストをもとに販売に必要な知識を学習し実際の店頭業務との関連性を理解しながらアウトプットして店頭での実務に繋げる。
この検定はファッション小売業における販売実務を網羅するものであり、就業後の知識として重要なものである。

【授業を通じての到達目標】

ファッション販売能力検定3級取得：ファッション小売業における販売/店舗運営知識の把握、技術の習得
ナチュラルビューティスタイリスト検定取得：ライフスタイルアドバイザーとしての健康的なくらしのサポート知識習得

【使用教科書・教材・参考書】

ファッション販売3
ファッション販売検定試験問題集3級
ナチュラルビューティースタイリスト検定問題集

【授業外における学習】

講義時に行った問題集の正誤復習理解

回	授業概要	テスト配点
1	ファッション販売能力検定３級概要解説 ファッション販売能力検定３級概要理解する 教科書全ページ流し読み	
2	1章ファッション販売知識 ファッション販売知識理解する 教科書：P8-P19/P174-P185	4
3	5章　マーケティング1 マーケティング1理解する 教科書：P174-P185	
4	5章　マーケティング2 マーケティング2理解する 教科書：P185-P197	
5	6章　販売スタッフの業務 販売スタッフの業務理解する 教科書：P185-P197	4
6	2章　ファッション販売技術 ファッション販売技術理解する 教科書：P20-P45	
7	3章　商品知識1 アイテムの知識理解する 教科書：P46-P93	20
8	3章　商品知識2 素材/ディテール/柄/サイズ知識理解する 教科書：P94-P151	
9	4章　売り場づくり 売り場づくり理解する 教科書：P152-P173	4
10	ファッション販売能力検定3級　総括 ファッション販売能力検定３級総合理解する 試験対策、過去問演習	
11	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策1 ナチュラルビューティースタイリストとの役割理解する 「カラダのしくみを知る」理解 教科書：P2-P22	4
12	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策2 「カラダの内側から整える」理解する 教科書：P23-P62	
13	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策3 「カラダの外側から整える」理解する 教科書：P63-P86	4
14	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策4 「毎日のこころがけでナチュラルビューティー」理解する 「植物図鑑」理解 教科書：P87-P121	
15	定期試験 ナチュラルビューティスタイリスト検定受験	60

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。